

校内研修計画

甲州市立松里中学校

1 学校課題

昨年度の校内研では、「思考力・判断力・表現力」を向上させるために言語活動の充実を図った「授業づくり」と、「Q-Uの分析」をもとに構成的グループエンカウンターやソーシャルスキルトレーニングなどを学級活動などで取り入れた「集団づくり」を扱った。その結果、どの場面においても生徒に自分の考えを表現させることの難しさが課題として分かった。また、学校評価の分析から今年度の重点化する必要がある項目に「学習意欲の向上及びさらなる基礎学力の定着」「授業改善や家庭学習の継続化」「学校と家庭との連携」が挙げられた。

2 研究主題

「生きる力を育成する教育の創造」

－「わかる授業の工夫」と「家庭学習の充実」を通して「基礎・基本の定着」を図る－

3 主題の設定

本校では、「生きる力」を育むために「学び合いのかたち」を授業の中に効果的に取り入れ「思考力・判断力・表現力」を養う授業展開の工夫を行ってきた。その結果、相手の考えや意見を理解しようと努める意識が高まり、自発的に考え、判断し、実行しようとする姿が学習活動やその他の活動場面で少しずつ見られるようになった。今後は、「生きる力」の基礎となる資質や能力、態度を一層育みたい。

また、伝統的な取組として国語・数学・英語の基礎的な知識や技能を問う「三大会」を実施し、「家庭学習ノート」の取組も並行して行ってきた。昨年度は、確かな学力の定着を図るために、授業づくりと集団づくりの在り方を研究の柱として位置づけた。また、教育の今日的な課題を考えながら甲州市「確かな学力」育成プロジェクトを踏まえてQ-Uの活用と分析を行った。今年度は、基礎・基本の定着をより一層、図ることを研究の柱に位置付ける。それを具現化するために、言語活動の充実や問題解決型学習など様々なアプローチを取り入れながら「わかる授業」の工夫を進める。さらに、家庭学習の充実、検証も校内研究の中に取り入れる。授業との連携のなかで、これまでの家庭学習ノートをより効果的に活用する方法を考えることで、基礎・基本の定着を図り、生徒の学力を向上させていきたい。

なお、研究の仮説は次の通りである。「わかる授業」の工夫と家庭学習ノートを効果的に活用し家庭学習を充実させれば、基礎・基本の定着を図ることができるだろう。

4 研究の具体的内容と方法

(1) 基礎・基本の定着の土台を支える具体的な研究

- 1) 「あいさつ・返事」「話を聞く」「時間を守る」「人としての振る舞い」「言葉遣い」に関する「学習規律」の確立を図る
- 2) 全国学力・学習状況調査や県学力把握調査の分析を行う
- 3) Q-U調査の実施(年2回)を経て、各学年研究部会でK13法を取り入れた結果分析・情報交換を行う

(2) 基礎・基本の定着を図る具体的な研究

- 1) 「わかる授業」づくりの実践を甲州市「確かな学力育成プロジェクト」との連携を考えて、研究授業を行い、一人一実践の授業を見合う
- 2) 家庭学習の充実を図るために、松中ノート(家庭学習)の活用を効果的に行う

年 間 校 内 研 修 計 画

研究主任 武藤 英紀

月 日 (曜)	回	研 究 内 容	TC・講師
4月16日 (水)	第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の研究の方向性 ・今年度の研究主題 ・研究組織の確認 ・年間研究計画の確認 ・甲州市「確かな学力」育成プロジェクトとの連携について ・東山梨教協ブロック交流研究会との連携について ・学習規律の確認 ・松中ノートの活用について 	
5月23日 (金)	第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・事前アンケートについて ・研究授業, 授業実践についての確認【教科ブロック研究部会】 	
6月25日 (水)	第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・事前アンケート調査の集計結果について ・K13法によるQ-U調査の分析の学習会 	
7月9日 (水)	第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・「家庭学習の充実」「授業づくり」についての学習会 (講師を招聘して) ・K13法によるQ-U調査の分析【学年ブロック研究部会】 	◎
8月25日 (月)	第5回	<ul style="list-style-type: none"> ・甲州市「確かな学力育成プロジェクト」と連携した授業づくりの検討 ・授業展開の設計について【教科ブロック研究部会】 	
9月10日 (水)	第6回	<ul style="list-style-type: none"> ・「三大会」「学習規律」についての報告 ・授業案検討および研究授業の役割分担 	
9月24日 (水)	第7回	<ul style="list-style-type: none"> ・研究授業(古屋友香教諭)「1年(英語科)」 	◎
10月15日 (水)	第8回	<ul style="list-style-type: none"> ・「個を見取る指導力のあり方」についての学習会 (カウンセラーを招聘して) ・「松中ノート」の活用についての報告 	◎
10月29日 (水)	第9回	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロック交流研究会の授業公開について 	
11月19日 (水)	第10回	<ul style="list-style-type: none"> ・授業案検討および研究授業の役割分担 ・K13法によるQ-U調査の分析【学年ブロック研究部会】 	
12月10日 (水)	第11回	<ul style="list-style-type: none"> ・研究授業(大塚淳一教諭)「1年(数学科)」 ・研究紀要について ・事後アンケートについて 	◎
1月28日 (水)	第12回	<ul style="list-style-type: none"> ・事後アンケート調査の集計結果と考察について ・「三大会」「学習規律」についての報告 	
2月25日 (水)	第13回	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の成果と課題 ・来年度の方向性 	